

設備

第三十六号の四様式（第六条関係）（A 4）

定期検査報告書（昇降機等以外の建築設備等）

（第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

平成 年 月 日

様

報告者氏名 印

検査者氏名 印

【1.所有者】

【イ.氏名のフリガナ】

【ロ.氏名】

【ハ.郵便番号】 〒 -

【ニ.住所】

【ホ.電話番号】 ()

【2.管理者】

【イ.氏名のフリガナ】

【ロ.氏名】

【ハ.郵便番号】 〒 -

【ニ.住所】

【ホ.電話番号】 ()

【3.検査者】

【イ.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
建築基準適合判定資格者 第 号
登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ.氏名】

【ハ.勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ニ.郵便番号】 〒 -

【ホ.所在地】

【ハ.電話番号】 ()

【4.報告対象建築物】

【イ.所在地】 埼玉県

【ロ.名称のフリガナ】

【ハ.名称】

【ニ.用途】

【5.検査による指摘の概要】

【イ.指摘の内容】 ☐ 不適合の指摘あり (☐ 既存不適格)

☐ 要注意の指摘あり ☐ 指摘なし

【ロ.指摘の概要】

【ハ.改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

(台帳番号 - -)

受付欄	特記欄	整理番号欄
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		

建築設備の状況等

【1.建築物の概要】

【1.階数】 地上 階 地下 階 塔屋 階
 【0.延べ面積】 m²
 【8.検査対象建築設備】 ☐ 換気設備 ☐ 排煙設備 ☐ 非常用の照明装置
☐ 給水設備及び排水設備

【2.確認済証交付年月日等】

【1.確認済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号
 【0.確認済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
 【8.検査済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第
 【2.検査済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【3.検査日】

【1.今回の検査】 平成 年 月 日 実施
 【0.前回の検査】 ☐ 実施 (平成 年 月 日 報告) ☐ 未実施

【4.換気設備の検査者】

【1.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
 建築基準適合判定資格者 第 号
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号
 【0.氏名】
 【8.勤務先】
 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【2.郵便番号】 〒 -
 【ホ.所在地】
 【ハ.電話番号】 ()

【5.換気設備の概要】

【1.無窓居室】 ☐ 自然換気設備 ☐ 機械換気設備 ☐ 中央管理方式の空気調和設備
☐ その他 ☐ 無
 【0.火気使用室】 ☐ 自然換気設備 ☐ 機械換気設備 ☐ その他 ☐ 無
 【8.居室等】 ☐ 自然換気設備 ☐ 機械換気設備 ☐ 中央管理方式の空気調和設備
☐ その他 ☐ 無

【6.換気設備の検査の状況】

【1.指摘の内容】 ☐ 不適合の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要注意の指摘あり ☐ 指摘なし
 【0.改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

【7.排煙設備の検査者】

【1.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
 建築基準適合判定資格者 第 号
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号
 【0.氏名】
 【8.勤務先】
 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【2.郵便番号】 〒 -
 【ホ.所在地】
 【ハ.電話番号】 ()

【8.排煙設備の概要】

【1.避難安全検証法】 ☐ 階避難安全検証法 (階) ☐ 全館避難安全検証法
☐ 適用なし
 【0.特別避難階段の付室】 ☐ 排煙機 ☐ その他 ☐ 無
 【8.非常用エレベーターの乗降ロビー】
☐ 排煙機 ☐ その他 ☐ 無
 【2.居室等】 ☐ 排煙機 ☐ その他
 【ホ.予備電源】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ その他 ☐ 無

【9.排煙設備の検査の状況】

- 【イ.指摘の内容】 ☐ 不適合の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要注意の指摘あり ☐ 指摘なし
 【ロ.改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

【10.非常用の照明装置の検査者】

- 【イ.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
 建築基準適合判定資格者 第 号
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号
 【ロ.氏名】
 【ハ.勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【ニ.郵便番号】 〒 -
 【ホ.所在地】
 【ヘ.電話番号】 ()

【11.非常用の照明装置の概要】

- 【イ.照明器具】 ☐ 白熱灯 ☐ 蛍光灯 ☐ 高輝度放電灯 ☐ その他 ☐ 無
 【ロ.予備電源】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ その他 ☐ 無

【12.非常用の照明装置の検査の状況】

- 【イ.指摘の内容】 ☐ 不適合の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要注意の指摘あり ☐ 指摘なし
 【ロ.改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

【13.給水設備及び排水設備の検査者】

- 【イ.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
 建築基準適合判定資格者 第 号
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号
 【ロ.氏名】
 【ハ.勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【ニ.郵便番号】 〒 -
 【ホ.所在地】
 【ヘ.電話番号】 ()

【14.給水設備及び排水設備の概要】

- 【イ.飲料水の配管設備】 ☐ 給水タンク ☐ 貯水タンク ☐ その他
 【ロ.排水設備】 ☐ 排水槽 ☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他
 【ハ.圧力タンクの有無】 ☐ 有 ☐ 無
 【ニ.給湯設備の有無】 ☐ 有 ☐ 無

【15.給水設備及び排水設備の検査の状況】

- 【イ.指摘の内容】 ☐ 不適合の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要注意の指摘あり ☐ 指摘なし
 【ロ.改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

【16.備考】

設備・概要書

第三十六号の四の二様式（第六条、第六条の三、第十一条の四関係）（A 4）

定期検査報告概要書
（昇降機等以外の建築設備等）

（第一面）

検査等の概要

【1.所有者】

【イ.氏名のフリガナ】

【ロ.氏名】

【ハ.郵便番号】 〒 -

【ニ.住所】

【2.管理者】

【イ.氏名のフリガナ】

【ロ.氏名】

【ハ.郵便番号】 〒 -

【ニ.住所】

【3.検査者】

【イ.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
建築基準適合判定資格者 第 号
登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ.氏名】

【ハ.勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ニ.郵便番号】 〒 -

【ホ.所在地】

【ヘ.電話番号】 ()

【4.報告対象建築物】

【イ.所在地】 埼玉県

【ロ.名称のフリガナ】

【ハ.名称】

【ニ.用途】

【5.検査による指摘の概要】

【イ.指摘の内容】 ☐ 不適合の指摘あり (☐ 既存不適格)

☐ 要注意の指摘あり ☐ 指摘なし

【ロ.指摘の概要】

【ハ.改善予定の有無】 ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無

(台帳番号 - - -)

(第二面)

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【1.階数】 地上 階 地下 階 塔屋 階
 【0.延べ面積】 m²
 【8.検査対象建築設備】 ☐ 換気設備 ☐ 排煙設備 ☐ 非常用の照明装置
☐ 給水設備及び排水設備

【2. 確認済証交付年月日等】

【1.確認済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号
 【0.確認済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
 【8.検査済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号
 【2.検査済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【3. 検査日】

【1.今回の検査】 平成 年 月 日 実施
 【0.前回の検査】 ☐ 実施 (平成 年 月 日 報告) ☐ 未実施

【4. 換気設備の検査者】

【1.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
 建築基準適合判定資格者 第 号
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号
 【0.氏名】
 【8.勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【2.郵便番号】 〒 -
 【ホ.所在地】
 【ハ.電話番号】 ()

【5. 換気設備の概要】

【1.無窓居室】 ☐ 自然換気設備 ☐ 機械換気設備 ☐ 中央管理方式の空調調和設備
☐ その他 ☐ 無
 【0.火気使用室】 ☐ 自然換気設備 ☐ 機械換気設備 ☐ その他 ☐ 無
 【8.居室等】 ☐ 自然換気設備 ☐ 機械換気設備 ☐ 中央管理方式の空調調和設備
☐ その他 ☐ 無

【6. 排煙設備の検査者】

【1.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
 建築基準適合判定資格者 第 号
 登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号
 【0.氏名】
 【8.勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【2.郵便番号】 〒 -
 【ホ.所在地】
 【ハ.電話番号】 ()

【7. 排煙設備の概要】

【1.避難安全検証法】 ☐ 階避難安全検証法 (階) ☐ 全館避難安全検証法
☐ 適用なし
 【0.特別避難階段の付室】 ☐ 排煙機 ☐ その他 ☐ 無
 【8.非常用エレベーターの乗降ロビー】 ☐ 排煙機 ☐ その他 ☐ 無
 【2.居室等】 ☐ 排煙機 ☐ その他
 【ホ.予備電源】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家発電装置 ☐ その他 ☐ 無

【8.非常用の照明装置の検査者】

【イ.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
建築基準適合判定資格者 第 号
登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ.氏名】

【ハ.勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号
〒 -

【ニ.郵便番号】

【ホ.所在地】

【ヘ.電話番号】 ()

【9.非常用の照明装置の概要】

【イ.照明器具】 ☐ 白熱灯 ☐ 蛍光灯 ☐ 高輝度放電灯 ☐ その他 ☐ 無【ロ.予備電源】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家発電装置 ☐ その他 ☐ 無

【10.給水設備及び排水設備の検査者】

【イ.資格等】 () 建築士 () 登録 第 号
建築基準適合判定資格者 第 号
登録建築設備検査資格者講習を修了した者 第 号

【ロ.氏名】

【ハ.勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号
〒 -

【ニ.郵便番号】

【ホ.所在地】

【ヘ.電話番号】 ()

【11.給水設備及び排水設備の概要】

【イ.飲料水の配管設備】 ☐ 給水タンク ☐ 貯水タンク ☐ その他【ロ.排水設備】 ☐ 排水槽 ☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他【ハ.圧力タンクの有無】 ☐ 有 ☐ 無【ニ.給湯設備の有無】 ☐ 有 ☐ 無

【12.備考】

建築物の概要 (棟) (台帳番号 - -)

[illegible]

上の階から順に、上詰めで記入してください。

換気設備項目別評定書(報告書第二面【5・6関係】)

【5. 換気設備の概要】		【6. 換気設備の検査の状況】				
		【イ. 指摘の内容】				
検査項目		不適合の指摘あり	既存不適格	要注意の指摘あり	指摘なし	主な内容
【5.イ. 無窓居室】 ☐ 無	自然換気設備 ☐ 有 ☐ 無					
	機械換気設備 ☐ 無					
	中央管理方式の空気調和設備 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【5.ロ. 火気使用室】 ☐ 無	自然換気設備 ☐ 無					
	機械換気設備 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【5.ハ. 居室等】 ☐ 無	自然換気設備 ☐ 有 ☐ 無					
	機械換気設備 ☐ 無					
	中央管理方式の空気調和設備 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【5.イ～ハ. 防火設備】 ☐ 無	防火ダンパー ☐ 無					
	防煙ダンパー ☐ 無					
	防火防煙ダンパー ☐ 無					
【6.ロ. 改善予定の有無】 (○に検査項目番号を記入してください。)		具体的改善内容				
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
法令に基づく検査項目以外で特に報告を要する事項						
備考						

【5.イ～ハ. 防火設備】のダンパーは、定期検査報告書(第二面)の【5.換気設備の概要】欄の【イ.無窓居室】【ロ.火気使用室】【ハ.居室等】各欄に該当する場合は、「その他」に「レ」マークを付けてください。

定期報告が必要な換気設備が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

排煙設備項目別評定書(報告書第二面【8・9関係】)

【8・排煙設備の概要】		【9・排煙設備の検査の状況】				主な内容
		【イ・指摘の内容】				
検査項目		不適合の指摘あり	既存不適格	要注意の指摘あり	指摘なし	
【8・イ・避難安全検証法】	階避難安全検証法 (階) ☐ 適用有 ☐ 適用無					
	全館避難安全検証法 ☐ 適用有 ☐ 適用無					
【8・ロ・特別避難階段の付室】 ☐ 無 【8・ハ・非常用エレベーターの乗降叱咤】 ☐ 無	排煙機 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【8・ニ・居室等】 ☐ 無	排煙機 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【8・ホ・予備電源】 ☐ 無	蓄電池 ☐ 無					
	自家用発電装置 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【8・ロ～ニ・防火設備】 ☐ 無	防火ダンパー ☐ 無					
【9・ロ・改善予定の有無】 (○に検査項目番号を記入してください。)				具体的改善内容		
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
法令に基づく検査項目以外で特に報告を要する事項						
備考						

【8・ロ～ニ・防火設備】のダンパーは、定期検査報告書(第二面)の【8.排煙設備の概要】欄の【ロ.特別避難階段の付室】【ハ.非常用エレベーターの乗降叱咤】【ニ.居室等】各欄に該当する場合は、「その他」に「レ」マークを付けてください。

定期報告が必要な排煙設備が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

非常用の照明装置項目別評定書(報告書第二面【11・12関係】)						
【11. 非常用の照明装置の概要】		【12. 非常用の照明装置の検査の状況】				
		【イ. 指摘の内容】				
検査項目		不適合の指摘あり	既存不適格	要注意の指摘あり	指摘なし	主な内容
【11. イ. 照明器具】 ☐ 無	白熱灯 ☐ 無					
	蛍光灯 ☐ 無					
	高輝度放電灯 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【11. ロ. 予備電源】 ☐ 無	蓄電池 ☐ 無					
	自家用発電装置 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【12. ロ. 改善予定の有無】 (○に検査項目番号を記入してください。)				具体的改善内容		
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
法令に基づく検査項目以外で特に報告を要する事項						
備考						

定期報告が必要な非常用の照明装置が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

給水設備及び排水設備項目別評定書(報告書第二面【14・15関係】)

【14. 給水設備及び排水設備の概要】		【15. 給水設備及び排水設備の検査の状況】				
		【イ. 指摘の内容】				
検査項目		不適合の指摘あり	既存不適格	要注意の指摘あり	指摘なし	主な内容
【14. イ. 飲料水の配管設備】 ☐ 無	貯水タンク ☐ 無					
	給水タンク ☐ 無					
	圧力タンク ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
	給湯設備 ☐ 無					
【14. ロ. 排水設備】 ☐ 無	排水槽 ☐ 無					
	排水再利用配管設備 ☐ 無					
	その他 ☐ 無					
【15. ロ. 改善予定の有無】 (○に検査項目番号を記入してください。)				具体的改善内容		
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
○ ☐ 有 (平成 年 月に改善予定) ☐ 無						
法令に基づく検査項目以外で特に報告を要する事項						
備考						

定期報告が必要な給水設備及び排水設備が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

A		無窓居室	居室等	火気使用室
	自然換気設備	(室) ☐ 有 ☐ 無	(室) ☐ 有 ☐ 無	(室) ☐ 有 ☐ 無
	機械換気設備	(系統 室) ☐ 有 ☐ 無	(系統 室) ☐ 有 ☐ 無	(系統 室) ☐ 有 ☐ 無
	中央管理方式の 空気調和設備	(系統 室) ☐ 有 ☐ 無	(系統 室) ☐ 有 ☐ 無	
	空気調和設備・ 冷暖房設備	個別パッケージ・全空気・ヒートポンプ・ファンコイルユニット併用・ その他 ()		
B	前回の定期検査報告書	☐ 有 ☐ 無	換気・空気調和設備の 完成図書	☐ 有 ☐ 無
	換気・空気調和設備の 設計計算書	☐ 有 ☐ 無	換気・空気調和設備の 試験成績表(温湿度関係)	☐ 有 ☐ 無
	維持保全計画書	☐ 有 ☐ 無	関係法令に基づく検査記録	☐ 有 ☐ 無
	関係法令に基づく 申請届出	☐ 有 ☐ 無		

3. 定期報告が必要な換気設備が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【5.イ. 無窓居室】 ☐ 無	自然換気 設備 ☐ 有 ☐ 無		— —
	機械換気 設備 ☐ 無	居室等の機械換気設備の外観検査（中央管理方式の空気調和設備を含む）	— —
		● 1. 外気取入れガラリ、排気ガラリの設置状況はよい（大きさ、位置、衛生上の配慮）	
		● 2. 各室の給気口、還気口、排気口の設置状況はよい（大きさ、位置）	
		● 3. ダクトの設置状況はよい（材質、取付け方法）	
		4. ダクトに空気漏れや経年変化の問題はないか	
		5. 給気機、排気機及びモーターの設置状況はよい	
		6. 給気機、排気機の運転時に異常はないか	
		● 7. 換気扇による換気状態はよい	
		居室等の機械換気設備の性能検査（中央管理方式の空気調和設備を含む）	— —
		● 1. 各系統の外気取入れ量、排気量はよい	
		● 2. 各室の換気量はよい	
		● 3. 中央管理方式による制御、作動及び監視状態はよい	
	中央管理 方式の空気 調和設備 ☐ 無	空気調和設備の室内環境検査	— —
		● 1. 室内の温度、相対湿度はよい	
		● 2. 各室の浮遊粉じん量、一酸化炭素含有率、二酸化炭素含有率はよい	
		● 3. 室内居住域の気流速度はよい	
		● 4. 吹き出した空気は室内に様に分配されているか	
		空気調和設備の主要機器・配管の外観検査	— —
		1. 空気調和機、冷凍機、ボイラー、ポンプ、冷却塔、蓄熱槽、冷温水タンク、空気ろ過器、（以下「空気調和機等」という）の設置状況はよい	
		2. 空気調和機等の運転時に異音、発熱、振動はないか	
		3. 空気調和機等の内部点検、清掃は容易に行えるか	
		● 4. 空気ろ過器の点検、清掃、ろ材の交換は容易か	
		5. ボイラー、冷温水発生機の燃焼用空気は適正に確保されているか	
		6. 冷却塔補給水ボールタップの作動状態はよい	
		● 7. 冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離はよい	
		8. 弁類の作動はよい	
	その他 ☐ 無		
【5.ロ. 火気 使用室】 ☐ 無	自然換気 設備 ☐ 無		— —
	機械換気 設備 ☐ 無	火気使用室の機械換気設備の検査（外観・性能）	— —
		● 1. 給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード、煙突の大きさはよい	
		● 2. 給気口、排気口、排気フードの位置はよい	
		● 3. 排気筒、排気フード、煙突は不燃材料で造られているか	
		4. 給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード、煙突の取付け方法はよい	
		● 5. 排気筒、煙突の断熱材の脱落、損傷はないか	
		● 6. 排気筒、煙突に可燃物、電線等が接触していないか	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【 5 . □ . 火気 使用室】 ☐ 無	機械換気 設備 ☐ 無	● 7 . 煙突に防火ダンパー等が設けられていないか	
		● 8 . 排気筒、煙突が他の換気設備の排気筒、ダクト等に連結されていないか	
		● 9 . 防火ダンパー等を設けた排気筒に煙突を連結する場合の器具は適正か	
		10 . 給気機、排気機及びモーターの設置状況はよい	
		11 . 給気機、排気機の運転時に異音、振動、モーターの発熱はないか	
		12 . 換気扇による換気状態はよい	
		● 13 . 正常な燃焼に必要な給気量、排気量が確保されているか	
	その他 ☐ 無		
【 5 . 八 . 居室等】 ☐ 無	自然換気 設備 ☐ 有 ☐ 無		--
	機械換気 設備 ☐ 無	居室等の機械換気設備の外観検査（中央管理方式の空気調和設備を含む）	--
		● 1 . 外気取入れガラリ、排気ガラリの設置状況はよい （大きさ、位置、衛生上の配慮）	
		● 2 . 各室の給気口、還気口、排気口の設置状況はよい（大きさ、位置）	
		● 3 . ダクトの設置状況はよい（材質、取付け方法）	
		4 . ダクトに空気漏れや経年変化の問題はないか	
		5 . 給気機、排気機及びモーターの設置状況はよい	
		6 . 給気機、排気機の運転時に異常はないか	
		● 7 . 換気扇による換気状態はよい	
		居室等の機械換気設備の性能検査（中央管理方式の空気調和設備を含む）	--
		● 1 . 各系統の外気取入れ量、排気量はよい	
		● 2 . 各室の換気量はよい	
		● 3 . 中央管理方式による制御、作動及び監視状態はよい	
	中央管理 方式の 空気調和 設備 ☐ 無	空気調和設備の室内環境検査	--
		● 1 . 室内の温度、相対湿度はよい	
		● 2 . 各室の浮遊粉じん量、一酸化炭素含有率、二酸化炭素含有率はよい	
		● 3 . 室内居住域の気流速度はよい	
		● 4 . 吹き出した空気は室内に様に分配されているか	
		空気調和設備の主要機器・配管の外観検査	--
		1 . 空気調和機、冷凍機、ボイラー、ポンプ、冷却塔、蓄熱槽、冷温水タンク、 空気ろ過器、（以下「空気調和機等」という）の設置状況はよい	
		2 . 空気調和機等の運転時に異音、発熱、振動はないか	
		3 . 空気調和機等の内部点検、清掃は容易に行えるか	
		● 4 . 空気ろ過器の点検、清掃、ろ材の交換は容易か	
		5 . ボイラー、冷温水発生機の燃焼用空気は適正に確保されているか	
		6 . 冷却塔補給水ボールタップの作動状態はよい	
		● 7 . 冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離はよい	
		8 . 弁類の作動はよい	
	その他 ☐ 無		

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【 5 . イ～ハ . 防火設備】 ☐ 無	防火 ダンパー ☐ 無 防煙 ダンパー ☐ 無 防火防煙 ダンパー ☐ 無	防火ダンパー等の検査（延焼のおそれのある部分に設けられたダンパーを含む）	— —
		● 1 . 防火区画貫通部、延焼のおそれのある範囲内のダクト開口部に 防火ダンパーが設置してあるか	
		● 2 . 防火ダンパーの種類は適切か F D : 温度ヒューズ連動防火ダンパー S D : 煙感知器連動型防火ダンパー S F D : F D と S D の両機能を備えたダンパー	
		● 3 . 防火ダンパーの材質はよいか	
		● 4 . 防火ダンパーの取付け位置はよいか	
		● 5 . 防火ダンパー点検用の点検口はあるか	
		● 6 . 防火ダンパーの点検口及び検査口の位置はよいか	
		● 7 . 防火ダンパーに検査口は装備されているか	
		● 8 . 壁・床の防火区画貫通部とダクトの間に隙間はないか	
		● 9 . 防火ダンパーの取付け方法はよいか	
		● 10 . 防火ダンパーの作動は円滑か	
		11 . 防火ダンパー（ F D ）の温度ヒューズ溶解温度はよいか	
		12 . 防火ダンパー（ F D ）の温度ヒューズ交換は容易に行えるか	
		13 . 連動型防火ダンパー（ S D 、 S F D ）の煙(熱)感知器との連動機能はよいか	
		● 14 . 連動型防火ダンパー（ S D 、 S F D ）の煙(熱)感知器取付け位置はよいか	

【5.イ～ハ．防火設備】のダンパーは、定期検査報告書（第二面）の【5.換気設備の概要】欄の【イ.無窓居室】
【ロ.火気使用室】【ハ.居室等】各欄に該当する場合は、「その他」に「レ」マークを付けてください。

3. 指摘事項

検査項目 番号	検査細目 番号	指摘内容

（記入欄が不足する場合は、別紙を添付してください。）

風量測定表

測定日 平成 年 月 日

使用ガス

[illegible]

1. 設備概要

		居室	居室以外の室	廊下等	特別避難階段の付室	非常用エレベーターの乗降口
A	機械排煙設備（吸引式）	区画(数)	区画(数)	区画(数)	区画(数)	区画(数)
	機械排煙設備（給気式）	区画(数)	区画(数)	区画(数)	区画(数)	区画(数)
B	前回の定期検査報告書	☐ 有 ☐ 無		排煙設備の完成図書 ☐ 有 ☐ 無		
	排煙設備の設計計算書	☐ 有 ☐ 無		排煙設備の試験成績表（風量、静圧、排煙機試験成績表） ☐ 有 ☐ 無		
	維持保全計画書	☐ 有 ☐ 無		関係法令に基づく申請届出 ☐ 有 ☐ 無		
	関係法令に基づく検査記録	☐ 有 ☐ 無				

(注意)

1. 設備概要関係（様式No.3排煙-1）

A欄は、該当する排煙設備の設置場所別に区画数を記入してください。

B欄は、「有」、「無」の該当する方の「□」に「レ」マークを入れてください。

2. 検査項目関係（様式No.3排煙-2～6）

避難安全検証法欄は、適用がある場合には検査項目の階避難安全検証法及び全館避難安全検証法の「□」に「レ」マークを入れてください。なお、階避難安全検証法の場合には、該当する階数を入れてください。

検査は、検査細目に基づき行い、その結果を指摘欄に記入してください。

検査結果については、建築基準法に不適合の場合は「×」、既存不適格と判断される場合は「△」、要注意の場合は「○」、助言の場合は「■」、良好の場合は「◇」を記入し、該当しない項目については指摘欄に斜線を引いてください。

「×」「△」のついた検査細目については、その状況を「3.指摘事項」欄に記入してください。

「●」印は建築基準法に基づき特定行政庁に報告すべき項目を表わしています。

3. 定期報告が必要な排煙設備が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【8.イ.避難安全 検証法】 ☐ 無	☐ 階避難 安全検証法 (階) ☐ 全館避難 安全検証法		--
【8.ロ.特別避難 階段の 付室】 ☐ 無 【8.ハ.非常用 エレベ ーターの 乗降 ロビー】 ☐ 無	排煙機 ☐ 無	排煙機の外観検査	--
		1. 排煙機の設置状況はよい	
		2. ダクトとの接続部に異常はない	
		排煙機の性能の検査	--
		● 1. 排煙機の起動及び運転は円滑か	
		● 2. 排煙機の排煙風量は規定風量となっているか	
		● 3. 排煙機は排煙口の開放と連動して自動的に起動するか	
		● 4. 中央管理方式による排煙機の制御と作動はよい	
		● 5. 中央管理方式による排煙機の監視状態はよい	
		6. 煙排出口の位置はよい	
		7. 煙排出口の周囲に障害物はない	
		8. 煙排出口は単独排出となっている	
		9. 排煙ダクトとの接続状態はよい	
	その他 ☐ 無	機械排煙設備排煙口の外観検査	--
		● 1. 排煙口の大きさ・位置はよい	
		2. 排煙口の周囲に障害物はない	
		3. 排煙口の保守管理はよい (取付け状態、腐食、汚れ等)	
		4. 手動開放装置について使用を妨げるような不備はない	
		● 5. 手動開放装置の操作方法について表示はよい	
		機械排煙設備排煙口の性能検査	--
		● 1. 手動開放装置による連動で、排煙口の風量は規定風量となっているか	
		● 2. 中央管理方式による機械排煙の場合、規定どおり作動するか (空調機の停止、遠隔操作、作動表示)	
		機械排煙設備排煙ダクトの検査	--
		● 1. 排煙ダクトの材質はよい	
		2. 排煙ダクトの取付け方法はよい	
		● 3. 排煙ダクトと防煙壁との隙間は埋戻しされている	
		● 4. 排煙ダクトの断熱材の脱落、損傷はない	
		● 5. 排煙ダクトに可燃物、電線等が接触していない	
		6. 排煙ダクトに空気漏れはない	
		特殊な構造の排煙設備排煙口及び給気口の外観検査	--
		● 1. 排煙口及び給気口の大きさ・位置はよい	
		2. 排煙口及び給気口の周囲に障害物はない	
		3. 排煙口の保守管理はよい (取付け状態、腐食、汚れ等)	
		● 4. 手動開放装置について使用を妨げるような不備はない	
		● 5. 手動開放装置の操作方法について表示はよい	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【 8 . □ . 特別避難 階段の 付室】 ☐ 無 【 8 . ハ . 非常用エ レベータ ーの乗降 ロビー】 ☐ 無	その他 ☐ 無	特殊な構造の排煙設備排煙口の性能検査	— —
		● 1 . 手動開放装置による連動で、排煙口の風量は規定風量となっているか	
		● 2 . 中央管理方式による特殊な構造の排煙の場合、規定どおり作動するか (空調機の停止、遠隔操作、作動表示)	
		特殊な構造の排煙設備給気ダクトの検査	— —
		● 1 . 給気ダクトの材質はよいか	
		2 . 給気ダクトの取付け方法はよいか	
		● 3 . 給気ダクトと防煙壁との隙間は埋戻しされているか	
		4 . 給気ダクトに空気漏れはないか	
		特殊な構造の排煙設備給気送風機の外観検査	— —
		1 . 給気送風機の設置状況はよいか	
		2 . ダクトとの接続部に異常はないか	
		特殊な構造の排煙設備給気送風機の性能検査	— —
		● 1 . 給気送風機の起動及び運転は円滑か	
		2 . 給気送風機の給気風量は排煙設備の設計計算書と一致しているか	
		● 3 . 給気送風機は排煙口の開放と連動して自動的に起動するか	
		● 4 . 中央管理方式による給気送風機の制御と作動はよいか	
		● 5 . 中央管理方式による給気送風機の監視状態はよいか	
		特殊な構造の排煙設備給気送風機の吸込口の検査	— —
		1 . 給気送風機の吸込口の位置はよいか	
		2 . 給気送風機の周囲に障害物はないか	
		特別避難階段の付室及び非常用エレベーターの乗降ロビーに設ける 排煙給気口・排煙口の検査	— —
		● 1 . 付室等に設置された排煙口、排煙給気口及び空気取入れ口について 大きさ、取付け位置はよいか	
		● 2 . 排煙給気口と排煙口との連動開放はよいか	
		3 . 空気取入れ口の周囲に障害物はないか	
【 8 . ニ . 居室等】 ☐ 無	排煙機 ☐ 無	排煙機の外観検査	— —
		1 . 排煙機の設置状況はよいか	
		2 . ダクトとの接続部に異常はないか	
		排煙機の性能検査	— —
		● 1 . 排煙機の起動及び運転は円滑か	
		● 2 . 排煙機の排煙風量は規定風量となっているか	
		● 3 . 排煙機は排煙口の開放と連動して自動的に起動するか	
		● 4 . 中央管理方式による排煙機の制御と作動はよいか	
		● 5 . 中央管理方式による排煙機の監視状態はよいか	
		6 . 煙排出口の位置はよいか	
		7 . 煙排出口の周囲に障害物はないか	
		8 . 煙排出口は単独排出となっているか	
		9 . 排煙ダクトとの接続状態はよいか	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【 8 . 二 . 居室等 】 ☐ 無	その他 ☐ 無	可動防煙壁の検査	— —
		1 . 手動降下装置は容易に操作できるか	
		● 2 . 手動降下装置による可動防煙壁の作動はよい	
		3 . 煙感知器の作動はよい	
		● 4 . 煙感知器による可動防煙壁の連動はよい	
		● 5 . 作動後、防煙壁の材料はよい	
		● 6 . 作動後、防煙壁の設置状況はよい	
		● 7 . 中央管理方式による制御と作動はよい	
		● 8 . 中央管理方式による監視状態はよい	
		機械排煙設備排煙口の外観検査	— —
		● 1 . 排煙口の大きさ・位置はよい	
		2 . 排煙口の周囲に障害物はない	
		3 . 排煙口の保守管理はよい (取付け状態、腐食、汚れ等)	
		4 . 手動開放装置について使用を妨げるような不備はない	
		● 5 . 手動開放装置の操作方法について表示はよい	
		機械排煙設備排煙口の性能検査	— —
		● 1 . 手動開放装置による連動で、排煙口の風量は規定風量となっているか	
		● 2 . 中央管理方式による機械排煙の場合、規定どおり作動するか (空調機の停止、遠隔操作、作動表示)	
		機械排煙設備排煙ダクトの検査	— —
		● 1 . 排煙ダクトの材質はよい	
		2 . 排煙ダクトの取付け方法はよい	
		● 3 . 排煙ダクトと防煙壁との隙間は埋戻しされているか	
		● 4 . 排煙ダクトの断熱材の脱落、損傷はない	
		● 5 . 排煙ダクトに可燃物、電線等が接触していない	
		6 . 排煙ダクトに空気漏れはない	
		特殊な構造の排煙設備排煙口及び給気口の外観検査	— —
		● 1 . 排煙口及び給気口の大きさ・位置はよい	
		2 . 排煙口及び給気口の周囲に障害物はない	
		3 . 排煙口の保守管理はよい (取付け状態、腐食、汚れ等)	
		● 4 . 手動開放装置について使用を妨げるような不備はない	
		● 5 . 手動開放装置の操作方法について表示はよい	
		特殊な構造の排煙設備排煙口の性能検査	— —
		● 1 . 手動開放装置による連動で、排煙口の風量は規定風量となっているか	
		● 2 . 中央管理方式による特殊な構造の排煙の場合、規定どおり作動するか (空調機の停止、遠隔操作、作動表示)	
		特殊な構造の排煙設備給気ダクトの検査	— —
		● 1 . 給気ダクトの材質はよい	
		2 . 給気ダクトの取付け方法はよい	
		● 3 . 給気ダクトと防煙壁との隙間は埋戻しされているか	
		4 . 給気ダクトに空気漏れはない	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【 8 . 二 . 居室等】 ☐ 無	その他 ☐ 無	特殊な構造の排煙設備給気送風機の外観検査	--
		1 . 給気送風機の設置状況はよい	
		2 . ダクトとの接続部に異常はない	
		特殊な構造の排煙設備給気送風機の性能検査	--
		● 1 . 給気送風機の起動及び運転は円滑	
		2 . 給気送風機の給気風量は排煙設備の設計計算書と一致している	
		● 3 . 給気送風機は排煙口の開放と連動して自動的に起動する	
		● 4 . 中央管理方式による給気送風機の制御と作動はよい	
		● 5 . 中央管理方式による給気送風機の監視状態はよい	
		特殊な構造の排煙設備給気送風機の吸込口の検査	--
【 8 . ホ . 予備電源】 ☐ 無	蓄電池 ☐ 無		--
	自家用 発電装置 ☐ 無	自家用発電装置の外観検査	--
		● 1 . 自家用発電機室の管理状態はよい	
		● 2 . 排煙機は予備電源で30分以上運転する	
		3 . 燃料油、潤滑油、冷却水の量は十分	
		4 . 空気槽の圧力は基準範囲	
		5 . 各種の配管、可とう管又は接続部分の漏洩はない	
		6 . 発電機盤、自動制御盤の状態はよい	
		7 . スイッチ、バルブ、ハンドルの位置は運転可能な位置となっている	
		8 . 自家用発電装置の転倒防止措置はよい	
		自家用発電装置の性能検査	--
		1 . 屋内設置の場合、換気設備の状態はよい	
		● 2 . 電源切替はよい	
		3 . 発電装置の始動・停止の状態はよい	
		4 . 原動機の予熱制御回路の状態はよい	
		5 . 運転中に油漏れ、ガス漏れ、漏水、その他Vベルト等に異常はない	
		6 . 異臭、不規則音、異常な振動、異常な発熱はない	
		7 . 排気管及び消音器の破損、亀裂による排気漏れはない	
		8 . 電圧計、電流計、周波数計、継電器及び表示灯等の作動はよい	
		9 . 接地線の接続状態はよい	
		10 . 絶縁抵抗値はよい	
		11 . 補機類の作動はよい	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【 8 . ホ . 予備電源】 ☐ 無	その他 ☐ 無	直結エンジンの外観検査	— —
		1 . 直結エンジン設置場所の保守管理状態はよい	
		2 . 潤滑油、燃料油の量は十分	
		3 . 始動前の制御盤の計器類・表示灯等の状態はよい	
		4 . 排気管の取付け状態はよい	
		5 . Vベルトの取付け状態はよい	
		直結エンジンの性能検査	— —
		1 . 直結エンジンの始動、停止状態はよい	
		2 . 直結エンジンの運転状況はよい	
		3 . 始動後の制御盤の計器類・表示灯等の表示はよい	
		4 . 排気管からの漏れはない	
		5 . 接地線の接続状態はよい	
		6 . 絶縁抵抗値はよい	
【 8 . 口～二 . 防火設備】 ☐ 無	防火 ダンパー ☐ 無	排煙設備ダクトの防火ダンパー (HFD) の検査	— —
		● 1 . 防火ダンパー点検用の点検口及び検査口はあるか	
		● 2 . 防火ダンパーの点検口及び検査口の位置はよい	
		● 3 . 防火ダンパーと防火区画の壁、床との間に隙間はない	
		● 4 . 防火ダンパーの取付け状態はよい	
		● 5 . 防火ダンパーの作動は円滑	
		6 . 防火ダンパーの温度ヒューズ溶解温度はよい	
		7 . 防火ダンパーの温度ヒューズ交換は容易に行える	
		● 8 . 防火ダンパーは開放状態になっている	

【8.口～二.防火設備】のダンパーは、定期検査報告書（第二面）の【8.排煙設備の概要】欄の【口.特別避難階段の付室】【ハ.非常用エレベーターの乗降ロビー】【二.居室等】各欄に該当する場合は、「その他」に「レ」マークを付けてください。

3. 指摘事項

検査項目 番号	検査細目 番号	指摘内容

（記入欄が不足する場合は、別紙を添付してください。）

1. 設備概要

			居室	廊下	階段
A	照明器具	イ．白熱灯	イ ()	イ ()	イ ()
		ロ．蛍光灯	ロ ()	ロ ()	ロ ()
		ハ．高輝度放電灯	ハ ()	ハ ()	ハ ()
	予備電源	イ．蓄電池（内蔵形）	イ ()	イ ()	イ ()
		ロ．蓄電池（別置形）	ロ ()	ロ ()	ロ ()
		ハ．自家用発電装置	ハ ()	ハ ()	ハ ()
		ニ．両者（ロ・ハ）併用	ニ ()	ニ ()	ニ ()
	B	前回の定期検査報告書 ☐ 有 ☐ 無		非常用の照明装置完成図書 ☐ 有 ☐ 無	
非常用の照明装置設計計算書 ☐ 有 ☐ 無		非常用の照明装置試験成績表 （予備電源、絶縁抵抗、照度関係） ☐ 有 ☐ 無			
維持保全計画書 ☐ 有 ☐ 無		関係法令に基づく申請届出 ☐ 有 ☐ 無			
関係法令に基づく検査記録 ☐ 有 ☐ 無					

（注意）

1. 設備概要関係（様式No.3非照-1）

A欄は、該当する照明器具及び予備電源の種類を設置場所別に「イ」～「ニ」までの文字に○印を付け、（ ）内にその数を記入してください。

B欄は、「有」、「無」の該当する方の「□」に「レ」マークを入れてください。

2. 検査項目関係（様式No.3非照-2～5）

検査は、検査細目に基づき行い、その結果を指摘欄に記入してください。

検査結果については、建築基準法に不適合の場合は「×」、既存不適格と判断される場合は「△」、要注意の場合は「○」、助言の場合は「■」、良好の場合は「◇」を記入し、該当しない項目については指摘欄に斜線を引いてください。

「×」「△」のついた検査細目については、その状況を「3.指摘事項」欄に記入してください。

不良箇所の詳細は、「4.非常用照明装置の不良箇所」欄に具体的に記入してください。

（記入例）

場所・光源	不良の理由（複数選択可）
2階 EVホール (1 箇所) ○白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯 ・ バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・ 球(管)切れ・球(管)の取り外し・ 点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()

国土交通大臣の認定を受けた非常用の照明装置がある場合は、該当する検査項目の「その他」欄の検査細目に具体的内容を記入し検査を行ってください。

「●」印は建築基準法に基づき特定行政庁に報告すべき項目を表わしています。

3. 定期報告が必要な非常用照明装置が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【11.イ. 照明器具】 ☐ 無	白熱灯 ☐ 無	● 1. 使用電球・ランプ等は、器具の仕様に適合しているか	
	蛍光灯 ☐ 無	● 1. 使用電球・ランプ等は、器具の仕様に適合しているか	
	高輝度放電灯 ☐ 無	● 1. 使用電球・ランプ等は、器具の仕様に適合しているか	
	その他 ☐ 無		
【11.ロ. 予備電源】 ☐ 無	蓄電池 ☐ 無	電池内蔵形の蓄電池	--
		1. 電池内蔵形器具の場合で充電表示ランプ付きのものは正常に機能しているか	
		● 2. 器具は予備電源で点灯するか	
		● 電池内蔵形器具は、分電盤の主開閉器又は器具の点検スイッチで予備電源に切替えられ点灯するか	
		● 3. 器具は予備電源で30分以上点灯するか	
		照度測定	--
		● 1. 規定の照度は確保されているか	
		分電盤の検査(電池内蔵形)	--
		● 1. 分電盤の構造状態はよいか	
		2. 接地線の接続状態はよいか	
		配線の検査(電池内蔵形)	--
		1. 分岐回路の絶縁抵抗値はよいか	
		● 2. 一般照明併用形の場合の配線は3線引き、又は4線引きとなっているか	
		● 3. 消防法に基づく誘導灯と兼用器具の場合は、専用回路となっているか	
		● 4. 防火区画等の貫通部の措置状態はよいか	
		● 配電管等が防火区画等を貫通する場合は、適法な工法により維持されているか	
		● 防火区画等の貫通部は法令に適合する埋戻し等が保たれているか	
		電源別置形の蓄電池	--
		● 1. 器具は予備電源で点灯するか	
		● 電源別置形器具は、常用分電盤の停電検出回路の開閉器を遮断することにより、予備電源回路により点灯するか	
		● 2. 器具は予備電源で30分以上点灯するか	
		照度測定	--
		● 1. 規定の照度は確保されているか	
		分電盤の検査(電源別置形)	--
		● 1. 分電盤の構造状態はよいか	
		2. 接地線の接続状態はよいか	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【11. □ . 予備電源】 ☐ 無	蓄電池 ☐ 無	配線の検査(電源別置形)	--
		● 1. 設置場所に適合した耐熱配線が用いられているか	
		2. 幹線、分岐回路の絶縁抵抗値はよい	
		● 3. 防火区画等の貫通部の措置状態はよい	
		● 配電管等が防火区画等を貫通する場合は、適法な工法により維持されているか	
		● 防火区画等の貫通部は法令に適合する埋戻し等が保たれているか	
		● 4. 配線の接続方法は適切に維持されているか	
		● 照明器具の口出線と配線は直接接続されているか	
		● 分岐回路にスイッチ、コンセント等が接続されていないか	
		● 他の電気回路が接続されていないか	
		● 接続個所の耐熱処理は十分か	
		切替回路の検査(電源別置方式)	--
		● 1. 常用の電源を「断」にすると自動的に予備電源に切替わるか	
		● 蓄電池設備の場合は瞬時に切替わるか、復電時は自動で常用の電源に切替わるか	
		● 蓄電池設備と自家発電装置が併用の場合、蓄電池設備は瞬時、自家発電装置は40秒以内に電圧が確立し自動切替で送電できるか	
		2. 電磁接触器等は異常はないか	
		蓄電池の外観検査	--
		1. 蓄電池の転倒防止措置は適切に維持されているか	
		蓄電池の性能検査	--
		1. 蓄電池の端子電圧はよい	
		2. 電解液比重及び温度はよい	
		3. 均等充電を実施しているか	
		4. 結線、接続の状態はよい	
		充電器の外観検査	--
		1. 充電器室の管理状態はよい	
		2. 充電器の保守管理状態はよい	
		3. 異臭、異音、異常な発熱はないか	
		充電器の性能検査	--
		1. 計器の指示、充電装置の設定値はよい	
		2. 継電器の作動状態はよい	
		3. 絶縁抵抗値はよい	
	自家用 発電装置 ☐ 無	自家用発電装置	--
		● 1. 器具は予備電源で点灯するか	
		● 電源別置形器具は、常用分電盤の停電検出回路の開閉器を遮断することにより、予備電源回路により点灯するか	
		● 2. 器具は予備電源で30分以上点灯するか	
		照度測定	--
		● 1. 規定の照度は確保されているか	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【11. □ . 予備電源】 ☐ 無	自家用 発電装置 ☐ 無	分電盤の検査(電源別置形)	--
		● 1. 分電盤の構造状態はよいか	
		2. 接地線の接続状態はよいか	
		配線の検査(電源別置形)	--
		● 1. 設置場所に適合した耐熱配線が用いられているか	
		2. 幹線、分岐回路の絶縁抵抗値はよいか	
		● 3. 防火区画等の貫通部の措置状態はよいか	
		● 配電管等が防火区画等を貫通する場合は、適法な工法により維持されているか	
		● 防火区画等の貫通部は法令に適合する埋戻し等が保たれているか	
		● 4. 配線の接続方法は適切に維持されているか	
		● 照明器具の口出線と配線は直接接続されているか	
		● 分岐回路にスイッチ、コンセント等が接続されていないか	
		● 他の電気回路が接続されていないか	
		● 接続個所の耐熱処理は十分か	
		切替回路の検査(電源別置方式)	--
		● 1. 常用の電源を「断」にすると自動的に予備電源に切替わるか	
		● 蓄電池設備と自家用発電装置が併用の場合、蓄電池設備は瞬時、自家用発電装置は40秒以内に電圧が確立し自動切替で送電できるか	
		2. 電磁接触器等は異常はないか	
		自家用発電装置の外観検査	--
		1. 燃料油、潤滑油、冷却水の量は十分か	
		2. 空気槽の圧力は基準範囲か	
		3. セル始動用蓄電池の電圧及び電解液の状態はよいか	
		4. 各種の配管、可とう管又は接続部分の漏洩はないか	
		5. 発電機盤、自動制御盤の状態はよいか	
		6. スイッチ、バルブ、ハンドルの位置は運転可能な位置となっているか	
		7. 自家用発電装置の転倒防止措置はよいか	
		自家用発電装置の性能検査	--
		1. 屋内設置の場合、換気設備の状態はよいか	
		● 2. 電源切替えはよいか	
		3. 発電装置の始動・停止の状態はよいか	
		4. 原動機の子熱制御回路の状態はよいか	
		5. 運転中に油漏れ、ガス漏れ、漏水その他Vベルト等に異常はないか	
		6. 異臭、不規則音、異常な振動、異常な発熱はないか	
		7. 排気管及び消音器の破損、亀裂による排気漏れはないか	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【11. □ . 予備電源】 ☐ 無	自家用 発電装置 ☐ 無	8. 電圧計、電流計、周波数計、継電器及び表示灯等の作動はよい	
		9. 接地線の接続状態はよい	
		10. 絶縁抵抗値はよい	
		11. 補機類の作動はよい	
	その他 ☐ 無		

3. 指摘事項

検査項目 番号	検査細目 番号	指摘内容

(記入欄が不足する場合は、別紙を添付してください。)

4. 非常用照明装置の不良箇所

場所・光源	不良の理由(複数選択可)
1階 エントランス (1 箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
2階 廊下 (2 箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
階 (箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
階 (箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
階 (箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
階 (箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
階 (箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
階 (箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()
階 (箇所) 白熱・蛍光・高輝度	バッテリー切れによる不点灯・バッテリー不良による照度不足・ バッテリー不良による点灯時間不足・球(管)切れ・球(管)の取り外し・点検用のヒモ切れ・ 配線不良・器具の未設置・その他()

(不良箇所は全て記入してください。記入欄が不足する場合は、別紙を添付してください。)

1. 設備概要

給水設備		排水設備		給湯設備		
A	給水タンク類	☐ 受水（貯水）タンク (基 m ³)	排水槽	☐ 汚水槽	給湯方式	☐ 局所式
		☐ 雑排水槽		☐ 中央式		
		☐ 高置（給水）タンク (基 m ³)		☐ 合併槽	湯沸器	☐ 開放式燃焼器
		☐ その他 ()		☐ 雨水槽・湧水槽		☐ 半密閉式燃焼器
☐ その他 ()	☐ その他 ()		☐ 密閉式燃焼器			
				☐ その他()		
B	前回の定期検査報告書 ☐ 有 ☐ 無		給水設備・排水設備完成図書 ☐ 有 ☐ 無			
	給水設備・排水設備設計図書 ☐ 有 ☐ 無		関係法令に基づく申請届出 ☐ 有 ☐ 無			
	維持保全計画書 ☐ 有 ☐ 無		関係法令に基づく検査記録 ☐ 有 ☐ 無			
	給水設備・排水設備試験成績表 (水圧、通水、主要機器等関係) ☐ 有 ☐ 無					

(注意)

1. 設備概要関係 (様式 No.3 給排水-1)

A 欄は、「給水設備」「排水設備」「給湯設備」ごとに、該当設備に「レ」マークを入れ、
()のある項目には、()内にその内容を記入してください。

B 欄は、「有」、「無」の該当する方の「□」に「レ」マークを入れてください。

2. 検査項目関係 (様式 No.3 給排水-2～4)

検査は、検査細目に基づき行い、その結果を指摘欄に記入してください。

検査結果については、建築基準法に不適合の場合は「×」、既存不適格と判断される場合は「 」、
要注意の場合は「 」、助言の場合は「■」、良好の場合は「○」を記入し、該当しない項目については
指摘欄に斜線を引いてください。

「×」「 」のついた検査細目については、その状況を「3.指摘事項」欄に記入してください。

「●」印は建築基準法に基づき特定行政庁に報告すべき項目を表わしています。

3. 定期報告が必要な給排水設備が設置されていない場合は、この様式は添付する必要はありません。

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【14. イ . 飲料水の 配管設備】 ☐ 無	貯水タンク ☐ 無 給水タンク ☐ 無 圧力タンク ☐ 無	飲料用の給水タンク・給水ポンプの検査	--
		● 1. 給水タンク又は貯水タンク（以下「給水タンク等」という）の保守点検は安全、容易におこなえるか	
		● 2. 給水タンク等は汚染を受けないような場所に衛生的に設置されているか	
		3. 給水タンク等への補給水は飲料用水（水道水）となっているか	
		● 4. 給水タンク等のマンホールの大きさ・構造は適切か	
		● 5. 給水タンク等に通気管、水抜き管、オーバーフロー管等が適切に設けられているか	
		● 6. 給水タンク等の材質はよいか、また腐食していないか	
		7. 給水タンク等に水漏れはないか	
		8. 給水タンク等の容量はよいか	
		● 9. 給水用圧力タンクの安全装置はよいか	
		10. 給水用圧力タンクの運転圧力はよいか	
		11. 給水ポンプの構造、材質はよいか	
		12. 給水ポンプの能力はよいか	
		● 13. 給水ポンプの運転状態は正常か	
		● 14. 給水タンク等の設置状況はよいか	
	その他 ☐ 無 給湯設備 ☐ 無	飲料用の配管・保温の検査	--
		● 1. 配管材料、経路、管径は適正か	
		● 2. 配管の振動、衝撃によるスリーブ、型枠の損傷防止措置及び伸縮継手、可とう継手の取付方法はよいか	
		● 3. 保温材の材質、被覆厚、防凍、耐重措置等施工はよいか	
		● 4. 配管が防火区画を貫通する部分及びその両側1mの防火措置はよいか	
		● 5. 配管の防食措置、雨仕舞いはよいか	
		● 6. 配管支持金物の材料、間隔、耐力はよいか	
		● 7. 飲料水系統配管の汚染防止措置はよいか	
		● 8. 配管の止水弁の設置はよいか	
		● 9. 配管のウォーターハンマー防止措置はよいか	
		10. 配管の腐食、漏水はないか	
		11. 給湯管、膨張管のこう配はよいか、また膨張管に弁類は取付けられていないか	
		● 12. 保温、標識の損傷、外観はよいか	
		加熱機器類の検査（循環ポンプを含む）	--
		1. ガス湯沸器（瞬間式、貯湯式）は供給ガスの種別に適合しているか	
		2. 寒冷地ではガス湯沸器の積雪対策、凍結対策はよいか	
		3. ガス湯沸器の据付け及び保守管理はよいか	
		● 4. ガス湯沸器の煙突（排気筒）・給排気部の構造、材質、設置はよいか	
		● 5. 電気湯沸器の構造、材質、付属品はよいか	
		6. 給湯用温水ボイラー等の構造、材質、付属品はよいか	
		7. 貯湯タンク（圧力容器）の構造、材質、付属品はよいか	
		8. 膨張タンクの構造、材質、設置、保守管理はよいか	
		9. 循環ポンプの構造、材質、設置、保守管理はよいか	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【14. □ . 排水設備】 □ 無	排水槽 □ 無	排水槽・ポンプの検査	— —
		1. 排水槽の設置位置はよい	
		● 2. 排水槽のマンホール、底部、配管等の構造はよい	
		● 3. 排水槽からの漏れはない	
		4. 排水槽の容量はよい、また容量の大きい排水槽の内部構造は適切	
		5. 排水槽内の設定水位の高さは適正か、またフロートスイッチ等の作動はよい	
		6. 排水ポンプの構造、材質、能力はよい	
		● 7. 地下街の排水設備はよい	
		8. 排水ポンプの計器の状態はよい	
	排水再利用 配管設備 □ 無	雑用水（排水再利用水）設備の検査（中水道を含む）	— —
		● 1. 雑用水の用途は適正か	
		2. 雑用水タンクは腐食していない	
		3. 雑用水タンク等に水漏れはない	
		4. 雑用水タンク等の容量はよい	
		● 5. 雑用水給水ポンプの構造、材質はよい	
		6. 雑用水給水ポンプの能力はよい	
		7. 雑用水給水ポンプの運転状態は正常	
		● 8. 雑用水タンク、ポンプ等の設置状況はよい	
		● 9. 雑用水処理施設の維持管理はよい	
	その他 □ 無	衛生器具・排水トラップ及び阻集器の検査	— —
		1. 衛生器具の損傷、漏水はない	
		2. 衛生器具の水圧、水量、排水状態は正常	
		● 3. 衛生器具は逆サイホン作用のおそれはない	
		4. 給水器具と水受け容器の組み合わせはよい	
		● 5. 排水トラップの設置、取付位置はよい	
		6. 排水トラップの形状、材質はよい	
		● 7. 排水トラップは排水管内の臭気、衛生害虫の移動を有効に防止できる構造となっている	
		● 8. 阻集器の設置、取付位置はよい	
		9. 阻集器の損傷はない	
		● 10. 阻集器の材質、構造はよい	
		排水の配管・保温の検査	— —
		● 1. 配管材料、経路、管径は適正	
		● 2. 配管の振動、衝撃によるスリーブ、型枠の損傷防止措置及び伸縮継手、可とう継手の取付方法はよい	
		● 3. 保温材の材質、被覆厚、防凍、耐重措置等施工はよい	
		● 4. 配管が防火区画を貫通する部分及びその両側1mの防火措置はよい	
		● 5. 配管の防食措置、雨仕舞いはよい	
		● 6. 配管支持金物の材料、間隔、耐力はよい	
		7. 配管の腐食、漏水はない	
		● 8. 排水管の接続先は適正	

報告書 第二面 番号	検査 項目	検査細目	指摘
【14. □ . 排水設備】 ☐ 無	その他 ☐ 無	9. 排水の逆流防止措置はよい	
		●10. 排水管（雨水管を含む）のこう配、トラップ、ルーフドレンはよい	
		●11. 通気管の設置・配管方法・開口位置及び状態はよい	
		●12. 間接排水の取り方等はよい	
		13. 特殊排水の系統・処理装置はよい	
		14. 保温、標識の損傷、外観はよい	

3. 指摘事項

検査項目 番号	検査細目 番号	指摘内容

(記入欄が不足する場合は、別紙を添付してください。)